

直近の学術フォーラム・公開シンポジウム等の開催予定について

令和6年4月23日時点

開催日時	開催形式（場所）	名称
4月27日（土） 17:30～19:30	オンライン開催	公開シンポジウム「『紅麴サプリ食品事故』から考える ～サプリメント、機能性表示食品とは？～」
5月11日（土） 13:00～15:20	オンライン開催	公開シンポジウム「動物の繁殖の研究ってこんなに広がるの！？」
5月12日（日） 13:30～15:30	ハイブリッド （広島国際会議場）	共同主催国際会議市民公開講座「ケイ素化学の未来と期待」
5月18日（土） 9:30～11:30	学習院大学西2号館 201教室	公開シンポジウム「公務員制度の変容：資源制約時代における応答要求への対応」
5月26日（日） 13:30～15:30	東京国際フォーラム	共同主催国際会議市民公開講座「アディクションの克服に向けて」
5月28日（火） 10:00～17:10	ハイブリッド （講堂）	公開シンポジウム「第36回環境工学連合講演会」

※諸般の事情により、内容等に変更が生じる可能性がありますので、学術フォーラム・公開シンポジウム等の参加前には日本学術会議ホームページを御確認ください。

日本学術会議・公開シンポジウム

「紅麴サプリ食品事故」から考える

サプリメント、機能性表示食品とは？



4/27

17:30-19:30

参加無料



シンポジウム詳細: <https://www.scj.go.jp/ja/event/2024/365-s-0427.html>

シンポジウム事務局: scj-tox@vetmed.hokudai.ac.jp

17:30 開会の挨拶 堀 正敏(日本学術会議第二部会員、東京大学・教授)

17:35「機能性食品のあり方:特定保健用食品から機能性表示食品へ」

熊谷 日登美(日本学術会議連携会員、日本大学・教授)

17:55「薬品的に用いられる栄養補助食品の自社管理の限界」

有路 昌彦(日本学術会議連携会員、近畿大学・教授)

18:05「自然由来の物質と健康被害にある背景」

畝山 智香子氏(立命館大学・客員研究員)

18:25「メディアからの問題提起」

大村 美香氏(朝日新聞くらし報道部記者)

18:40「リスク管理とコミュニケーションの方向性」

西澤 真理子(日本学術会議連携会員、株式会社リテラジャパン代表取締役)

18:50 総合討論、パネル議論と参加者との質疑応答

<モデレーター> 西澤 真理子

<パネリスト> 登壇者および (株)ファンケル 機能性食品研究所所長 寺本祐之氏

19:30 閉会の挨拶 石塚 真由美(日本学術会議連携会員、北海道大学・教授)



参加URL

<https://zoom.us/j/98465698799>

(事前登録不要)

SRD公開オンラインシンポジウム 動物の繁殖の研究って こんなに広がるの！？

2024年 5月11日(土) 13:00-15:20

Zoomウェビナーによる開催

セミナー内容

- ・山本 ゆき 先生（東京農工大学）
「動物の繁殖学研究と動物園への広がり：
希少動物の生息域外保全と繁殖学研究」
- ・若山 照彦 先生（山梨大学）
「哺乳類の宇宙繁殖の可能性と問題点
～人類は過酷な宇宙環境で繁栄できるのだろうか～」
- ・長嶋 比呂志 先生（明治大学）
「動物の繁殖学研究と医療への広がり」

参加方法

- ・事前登録が必要です（定員500名）。
- ・登録締め切り： 5月8日（水）
- ・登録用サイトから参加登録をお願いします。

登録された方には開催前日までにZoomのURLをお送り致します。

お問合せ：SRD事務局 srdoffice@reproduction.jp

参加費
無料

事前登録が
必要です

皆様のご参加をお待ちしております！

主催：公益社団法人日本繁殖生物学会

日本学術会議食料科学委員会畜産学分科会

共催：日本畜産学アカデミー

後援：公益社団法人日本畜産学会





ISOS-20 公開講座



こども化学



実験教室



開催
日程

2024年

5/12 日 13:30~15:30

開催
場所

広島国際会議場

参加無料

詳細はこちら ▶ <https://isos20-hiroshima.jp/silicone-kids-lab/>

1

市民公開講座

13:30~14:30

(申し込み不要)

ケイ素化学の未来と期待

～キッチン用品や化粧品などで身近な
シリコンについて知って、未来を考えよう～

2

実験講座

13:30~15:30

実験講座は
事前申し込みが
必要となります。

お申し込みは
こちらから



<https://forms.office.com/r/fQ8dY9cM7w>

申込締切

2024年4/30 火

触ってみようシリコン

シリコン(有機ケイ素高分子)が使われている
オイルやゴム製品などを実際に手に取って触っ
てもらい一般的な有機材料との違いを体験して
いただきます。

作ってみようシリコン

自動車やビル建設、台所用品など身の回りにも
使われるシリコンを使って、2つの液体を混ぜ
て固めてみたり、発泡してスポンジのようなゴム
を作ったり、泡を消す実験などをして、その面白
さ不思議を実際に体験していただきます。

日本学術会議・人口減少下の行政・地方自治分科会
公開シンポジウム

公務員制度の変容

参加費 無料

資源制約時代における応答要求への対応

日時

2024年 5月18日 土
9:30～11:30

場所

学習院大学 西2号館 201教室
(東京都豊島区目白1-5-1)

申し込み方法

下記URLのフォームに必要事項を記入のうえ
お申込みください

<https://x.gd/irNat>

締め切り:

2024年5月11日(土)



問い合わせ先

日本行政学会事務局 ☎ jspajp2022@gmail.com

主催

日本学術会議政治学委員会 人口減少下の行政・地方自治分科会

共催

日本行政学会 学習院大学大学院政治学研究科

概要

人口減少・超高齢社会を迎える中で、我が国の公務員制度、とりわけ国家公務員制度は、深刻な課題に直面している。我が国では、厳格な定員管理によって公務員数の増加を抑制する取り組みが続けられてきた結果、他の先進諸国と比べても格段に「小さな政府」を実現しているが、近年では、公務員の勤務環境の過酷さが指摘され、志願者数の減少や勤続意欲の低下を招いている。他方、2000年代以降の国家公務員制度改革によって、公務員人事に対する官邸の主導性が強まり、各府省の行政官が政策形成に関する主体性を喪失しているのではないかと指摘されている。人材や財源といった行政資源の利用可能性が低下していく資源制約時代において、国民が求める質の高い行政サービスを提供できる体制を維持すること、すなわち、公務員制度の応答性を確保することができるのかが問われている。

本シンポジウムでは、資源制約が強まっているにもかかわらず応答性をさらに高めよという民主制からの要求に対し、公務員制度がどのように対応しようとしているのかを、国際比較に基づいて考察したい。

次第・スケジュール

- 9:30 開会の挨拶 原田 久(立教大学法学部教授)
- 9:40 報告①「体験的公務員制度改革論」
森永 耕造(学習院大学非常勤講師)
- 10:00 報告②「ポストNPM とWhitehall 制度の終焉？」
中村 絢子(国際大学国際関係学研究科講師)
- 10:20 報告③「政策過程における政官関係の変化」
田中 秀明(明治大学公共政策大学院専任教授)
- 10:40 休憩
- 10:50 討論 出雲 明子(明治大学公共政策大学院専任教授)
西出 順郎(明治大学公共政策大学院専任教授)
- 11:25 閉会の挨拶 原田 久(立教大学法学部教授)

市民公開講座

参加費無料 事前登録制

アディクシヨンの 克服に向けて

2024.5.26(日)

時間

13:30~15:30

場所

東京国際フォーラム

主催：第35回国際神経精神薬理学会世界大会，日本学術会議

後援：東京都医学総合研究所

前半（英語）



アディクシヨンの脳内メカニズムと治療法の開発

座長：照沼 美穂（新潟大学大学院医歯学総合研究科 教授）

井手 聡一郎（公益財団法人 東京都医学総合研究所 副参事研究員）

- ・ Marina Picciotto（Yale University 教授）
- ・ George Koob（National Institute on Alcohol Abuse and Alcoholism (NIAAA) 所長）
- ・ Barbara Mason（The Scripps Research Institute 教授）

休憩 5 分

後半（日本語）



これからのアディクション対策

座長：盛山 正仁（衆議院議員 文部科学大臣）

大隅 典子（東北大学 副学長）

- ・ 中谷 元（衆議院議員 依存症対策議員連盟会長）
- ・ 辺見 聡（厚生労働省 障害保健福祉部長）
- ・ 菊地 哲朗（大塚製薬株式会社医薬品事業部 シニアフェロー）
- ・ 中込 和幸（国立精神・神経医療研究センター 理事長）

パネル討論

- ・ 南 砂（読売新聞東京本社 常務取締役調査研究担当）
- ・ 池田 和隆（公益財団法人 東京都医学総合研究所 参事研究員）

事前登録はこちらから

事前登録制：<https://forms.gle/wx3X9HN1U8kUVhg46>

事前登録締切：2024 年 4 月 30 日（水曜日）



第36回 環境工学連合講演会

持続可能で強靱な社会への 変革に向けて

2024年5月28日(火)
日本学術会議講堂＋オンライン開催

日 時 2024年5月28日(火) 10:00～17:10

参加費 無 料（講演論文集は、PDF版をメールにて配布いたします）

参加申込 <https://www.scj.go.jp/ja/event/2024/363-s-0528.html>

定 員 現地参加 130名/オンライン参加 500名
（申込先着順 定員に余裕がある場合、当日参加も受け付けます）

オンライン講演会
アクセス 上記URLで申込後、メールでZOOMウェビナーおよび
講演会論文集へのリンク情報をお送りします

問 合 先 （公社）化学工学会事務局 環境工学連合講演会担当（E-mail: 2024env@scej.org）

主 催 日本学術会議 環境学委員会 環境科学・環境工学分科会

共 催 化学工学会、環境科学会、環境資源工学会、空気調和・衛生工学会、
資源・素材学会、地盤工学会、静電気学会、大気環境学会、土木学会、
日本LCA学会、日本化学会、日本機械学会、日本建築学会、
日本水道協会、日本セラミックス協会、日本鉄鋼協会、日本土壌肥料学会、
日本分析化学会、日本水環境学会、廃棄物資源循環学会



専用フォーム
スマートフォン用
QRコード

タイムテーブル

開 会 (10:00～10:10)

開会挨拶

北川 尚美 (日本学術会議第三部副部長/東北大学)

招待講演

都市システム (10:10～11:10)

座長: 小瀬 博之 (空気調和・衛生工学会/東洋大学)

環境地盤工学とカーボンニュートラル

浅田 素之 (地盤工学会/清水建設株式会社)

都市・建築のカーボンニュートラルと 強靱化のためのシステムデザイン

村上 公哉 (日本建築学会/芝浦工業大学)

建築設備機能のレジリエンス向上と 環境配慮技術の社会実装に向けて

西川 豊宏 (空気調和・衛生工学会/工学院大学)

インフラストラクチャ (11:20～12:20)

座長: 松山智哉 (日本機械学会/三機工業株式会社)

社会環境変化に対応した多様な水道社会の 構築へ向けて

伊藤 禎彦 (土木学会/京都大学大学院)

持続可能性を追求したごみ処理施設のありかた

鈴木 康夫 (日本機械学会/
JFEエンジニアリング株式会社)

メンテナンスコスト平準化のための 腐食リスク予測マップの構築

片山 英樹 (日本鉄鋼協会/物質・材料研究機構)

特別講演 (13:30～14:00)

座長: 中井智司 (化学工学会/広島大学)

カーボンニュートラルで 持続可能な化学産業のあり方に関する考察

松方 正彦 (化学工学会/早稲田大学)

招待講演

資源・エネルギー (14:10～15:30)

座長: 一ノ瀬俊明 (環境科学会/国立環境研究所)

産業の脱炭素化と調和したプラスチック資源循環

中谷 隼 (廃棄物資源循環学会/東京大学)

プラスチックのサーキュラーエコノミーシステム 構築を支援する環境情報

田畑 智博 (環境科学会/神戸大学)

鉱物資源の持続的な供給は可能なのか？

安達 毅 (資源・素材学会、環境資源工学会/秋田大学)

高性能エネルギー・環境デバイス開発に向けた 界面分析研究

田邊 一郎 (日本分析化学会/立教大学)

環境管理 (15:40～17:00)

座長: 加用千裕 (日本LCA学会/東京農工大学)

持続可能な窒素管理に関わる大気環境問題

松田 和秀 (大気環境学会/東京農工大学)

持続可能な農業地域に寄与する カスケード型資源循環システム構築への挑戦

藤原 拓 (日本水環境学会/京都大学)

ミクロ固液界面を反応場にした環境材料の 開発と応用

関根 由莉奈 (日本化学会/日本原子力研究開発機構)

リジェネラティブでカーボン・オフセットな 農業に向けた風化促進技術の開発

中尾 淳 (日本土壌肥科学会/京都府立大学)

開 会 (17:00～17:10)

第36回環境工学連合講演会の総括

森口 祐一 (日本学術会議第三部会員/国立環境研究所)

閉会挨拶

浅見 真理 (日本学術会議連携会員/国立保健医療科学院)